

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第30週 > インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5-10

< 流行性耳下腺炎 > 本年第15週以降は常に過去5年間の同週の平均を上回っている

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第29週の報告数は前週より減少したが、第30週は168例と再び増加した



病原体情報  
P.11-12

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2005年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年 / インフルエンザウイルス 2005年第26週(6/27～)以降



速報  
P.13-14

夏季におけるインフルエンザウイルスAH3型の流行 - 沖縄県 / 中国青海省より帰国した邦人からインフルエンザウイルスAH3型が検出された事例



海外感染症情報

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話  
P.15

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(30週)  
P.16-22



30週のデータ  
P.23-34



## 発生動向総覧

\*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第30週コメント> 8月4日集計分

### 全数報告の感染症

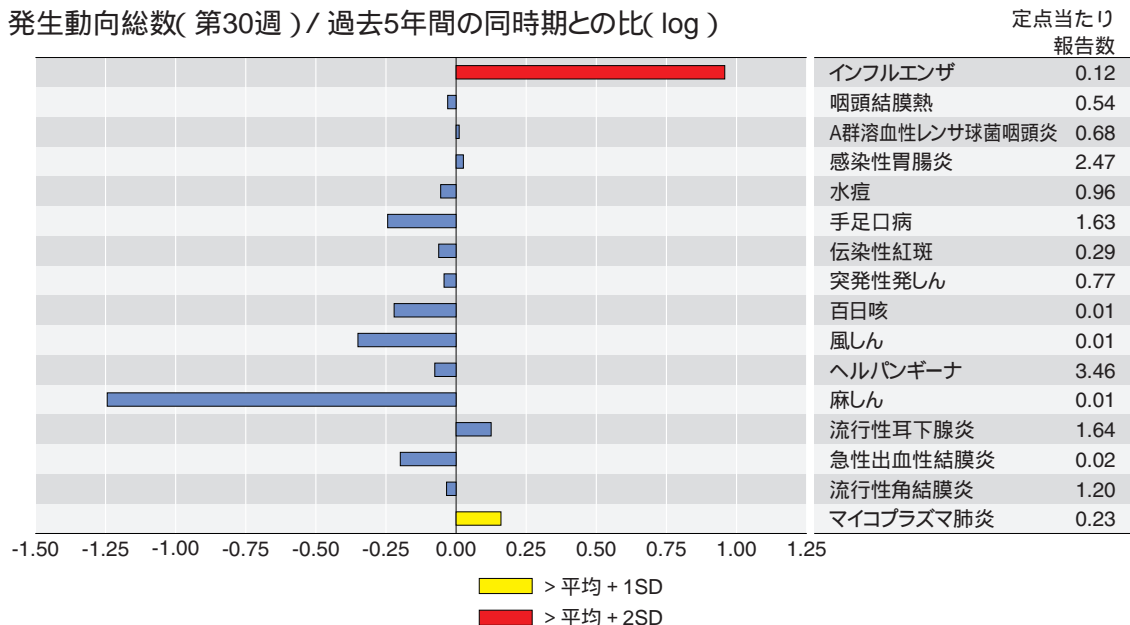
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
  - 2類感染症: コレラ 1例(推定感染地域: インド)
    - 細菌性赤痢 14例
      - (推定感染地域: ベトナム5例、インド2例、タイ2例、インドネシア1例、フィリピン1例、パキスタン1例、カンボジア1例、疑似症1例)
    - パラチフス 1例(推定感染地域: インド/東南アジア)
  - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 168例(うち有症者122例)
    - 報告の多い都道府県: 島根県21例\*、千葉県(11例)、愛知県(11例)
    - \*うち、20例は保育施設における集団発生
    - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(58例)、O157 VT2(32例)、O26 VT1(25例)、O157 VT1(5例)、O111 VT1・VT2(3例)、O26 VT1・VT2(2例)、O161 VT1(2例)、O18 VT1・VT2(1例)、O111 VT1(1例)、その他(39例)
    - 年齢: 10歳未満(69例)、10代(21例)、20代(24例)、30代(19例)、40代(4例)、50代(13例)、60代(11例)、70歳以上(7例)
  - 4類感染症: つつが虫病 1例(島根県)
    - 日本紅斑熱 2例(ともに島根県)
    - マラリア 2例
      - (ともに三日熱\_\_推定感染地域: インド1例、インドネシア/エクアドル1例)
    - レジオネラ症 9例(20代1例、40代3例、50代1例、60代1例、70代3例)
  - 5類感染症: アメーバ赤痢 5例
    - 推定感染地域: 国内3例、タイ1例、米国1例
    - 推定感染経路: 経口1例、性的接触(異性間)1例、経口/性的接触(異性間)1例、不明2例
  - ウイルス性肝炎 4例
    - B型3例\_\_推定感染経路: ピアス開孔器の使い回し1例、不明2例
    - C型1例\_\_推定感染経路: 不明
  - クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
  - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(30代、死亡)
  - 後天性免疫不全症候群 10例(無症候5例、AIDS 5例)
    - 推定感染経路: 性的接触7例(異性間5例、同性間2例)、不明3例
    - 推定感染地域: 国内7例、コロンビア1例、不明2例
  - ジアルジア症 1例(推定感染地域: 不明)
  - 梅毒 6例(早期顕症1例、2期2例、早期顕症II期3例、無症候1例)
  - 破傷風 3例(8歳、70代、80代)
  - バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
    - (遺伝子型: VanB\_\_菌検出検体: 尿)
  - 急性脳炎 1例(EBウイルス、20代)
- (補)他に、コレラ1例、ウイルス性肝炎1例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとしてQ熱1例(推定感染源: ネコ)、レプトスピラ症1例(推定感染地域: 国内)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(20代、80代)、急性脳炎2例(水痘带状疱疹ウイルス(6カ月)1例、単純ヘルペスウイルス(60代)1例)の報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第30週)/過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

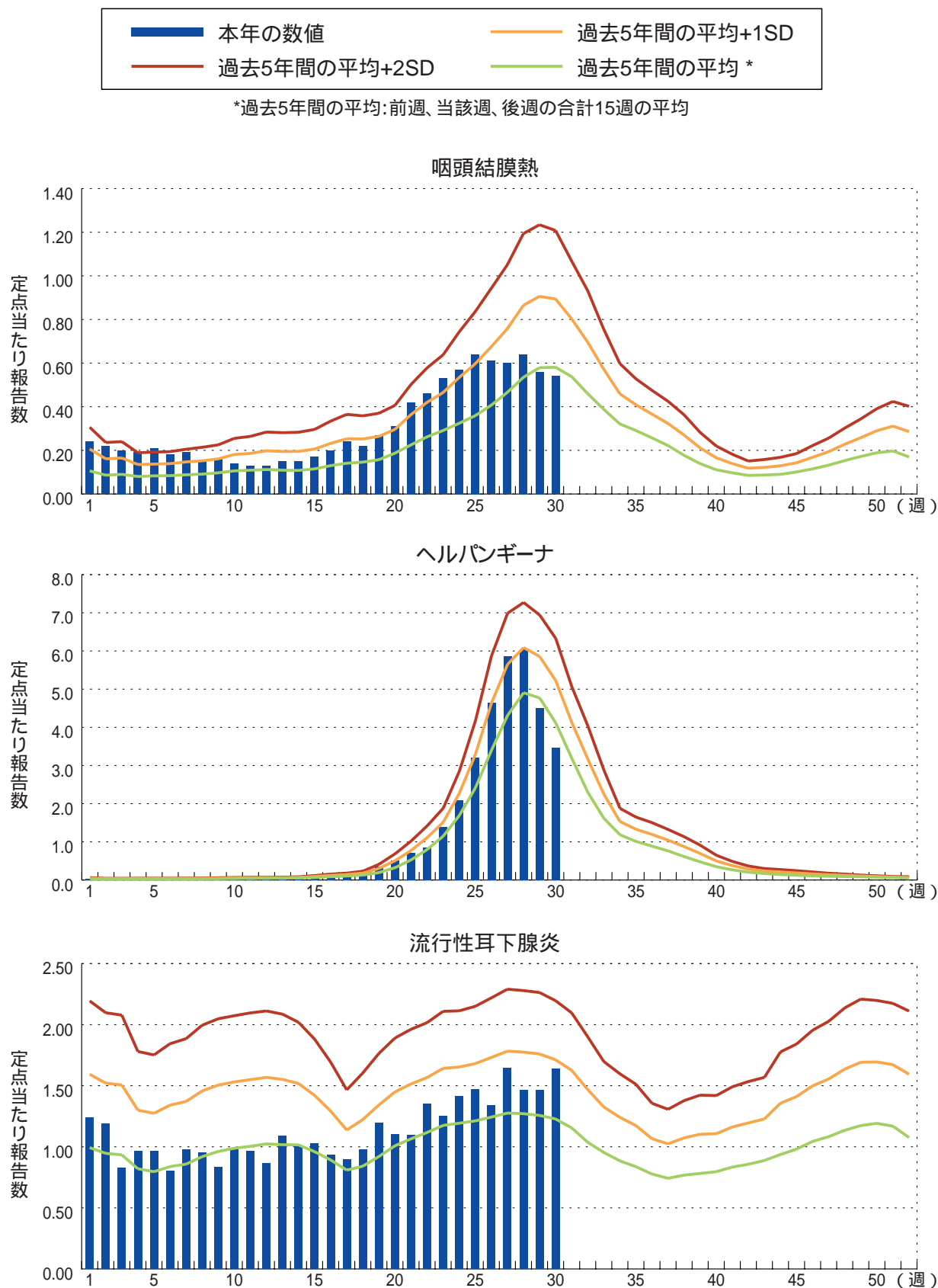
**インフルエンザ定点報告疾患** : 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県(8.43)、鹿児島県(0.56)、福井県(0.09)が多いが、沖縄県、鹿児島県では前週より減少している。

**小児科定点報告疾患** : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続して減少した。都道府県別では福岡県(1.16)、滋賀県(1.00)、静岡県(0.99)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第22週以降、連続して減少が続いている。都道府県別では山形県(1.9)、山口県(1.5)、宮崎県(1.4)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降、減少が続いている。都道府県別では宮崎県(6.7)、大分県(5.6)、福井県(5.5)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では青森県(1.7)、佐賀県(1.7)、福井県(1.4)、島根県(1.4)が多い。手足口病の定点当たり報告数は2週連続して減少した。都道府県別では山口県(11.6)、広島県(8.3)、新潟県(4.3)、鳥取県(3.7)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では青森県(1.00)、福島県(0.92)、鹿児島県(0.77)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では広島県(0.11)、沖縄県(0.06)、福島県(0.04)、島根県(0.04)が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では佐賀県(0.13)、青森県(0.05)、秋田県(0.03)、石川県(0.03)、京都府(0.03)、沖縄県(0.03)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続して減少した。都道府県別では長野県(9.1)、宮崎県(7.6)、新潟県(7.3)、大分県(6.7)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では福井県(0.05)、長野県(0.05)、山梨県(0.04)、熊本県(0.04)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では石川県(4.3)、富山県(3.1)、熊本県(3.0)、広島県(2.7)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて32都道府県から47例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約62%を占めている。

**基幹定点報告疾患** : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮城県(1.33)、山口県(0.88)、青森県(0.83)、岡山県(0.80)が多い。

(補) 京都府および神奈川県の麻しんの報告は取り消し予定

図. 主要定点把握疾患の週別過去5年間との比較(2005年第1～30週)  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





## 注目すべき感染症

### 流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎(ムンプス:mumps)は2～7歳の児を中心とした小児に好発する疾患である。2～3週間(平均18日前後)の潜伏期を経て発症し、片側あるいは両側性の唾液腺(耳下腺が最も多い)の有痛性腫脹を特徴とするウイルス感染症である。通常は1～2週間で軽快する予後良好の疾患であるが、最も多い無菌性髄膜炎をはじめ、髄膜脳炎、難聴、睾丸炎、卵巣炎、膵炎などの種々の合併症を起こす場合がある。感染経路はヒト-ヒト間の飛沫感染、接触感染であり、特に免疫を有しない乳幼児が集団で生活している保育施設などでは、集団発生を起こす場合がしばしば認められている。また成人での発症例では、合併症によって入院する例が比較的多い。

2005年では、第30週までの小児科定点からの累積報告数は103,692であり、昨年の同時期の報告数(62,742)を大きく上回っている。また、本年第15週以降は常に過去5年間の同週の平均を上回っている(図1、2)。これは、本疾患が過去10年間に於いて4年周期で流行を繰り返しており、2005年が流行年と予想されることとも一致している(図3)。都道府県別では、昨年より報告数が多かった福井県、佐賀県では本年春季頃より減少し始め、第30週には全国平均を下回っているが、石川県では第16週以降常に全国平均を上回るようになり、夏季に入ってからさらに増加している(図4)。

1999年以降の報告を年齢別にみると2～7歳が中心であり、7歳以下が全報告数の80%以上、9歳以下が90%以上を占めている(図5)。ワクチン、すなわちおたふくかぜワクチンは定期接種でないために、小児における正確な接種率は不明であるが、定期予防接種となっている麻疹、風しんとは異なり、ワクチン接種が疾患の流行をコントロールするには至っていない。

流行性耳下腺炎の報告数の増加に伴って、ムンプスウイルスによる無菌性髄膜炎の報告も増加しつつある。今後の本疾患の報告数の推移には十分な注意が必要である。

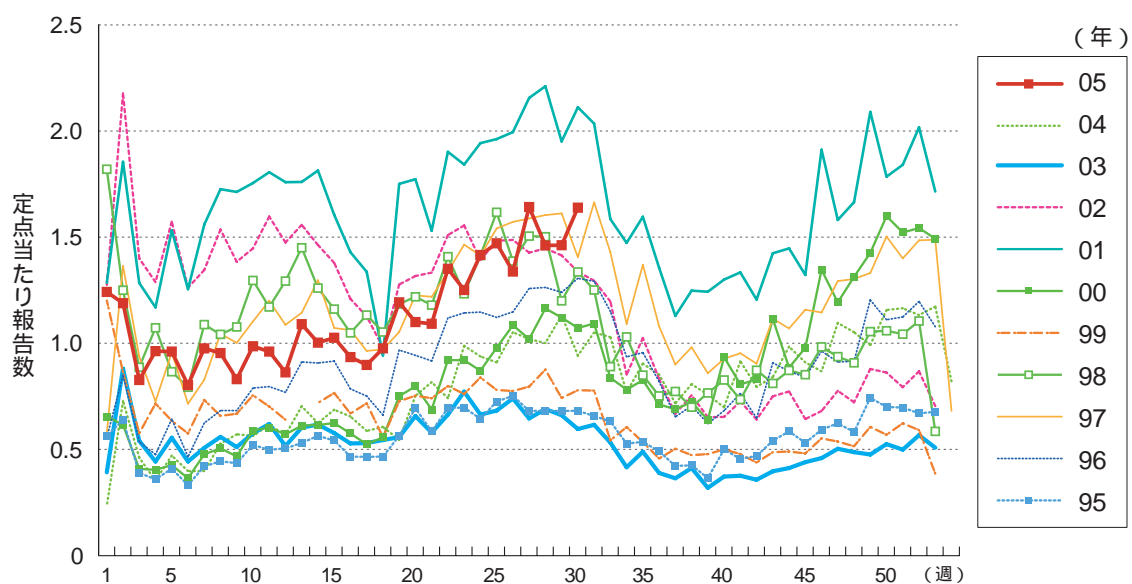


図1. 流行性耳下腺炎の年別・週別発生状況

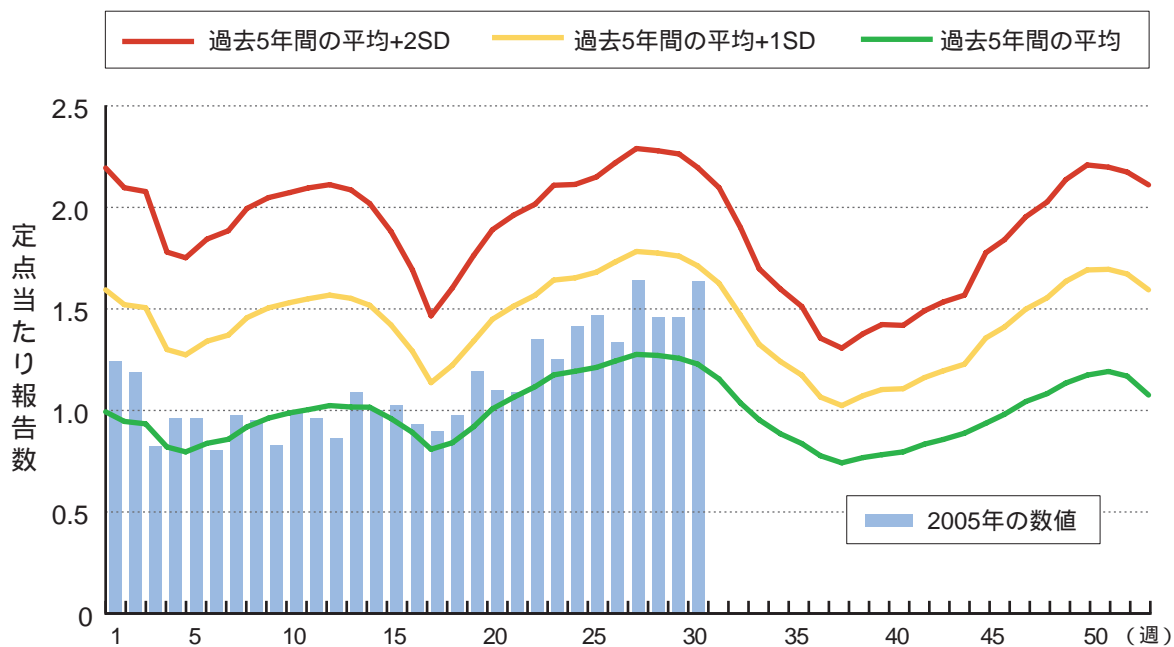


図2. 流行性耳下腺炎の週別発生状況

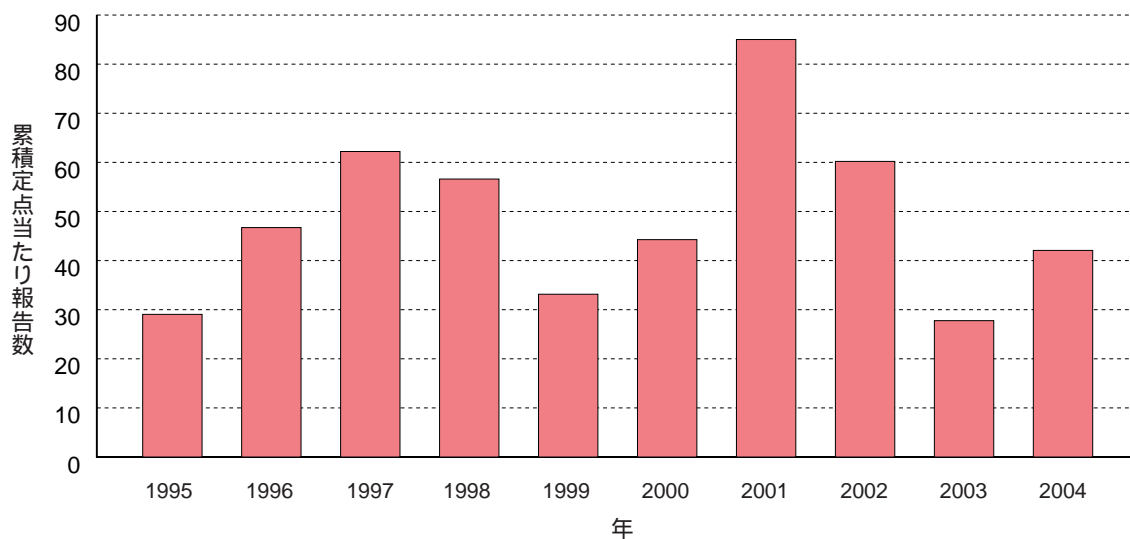


図3. 流行性耳下腺炎の年別発生状況(1995～2004年)

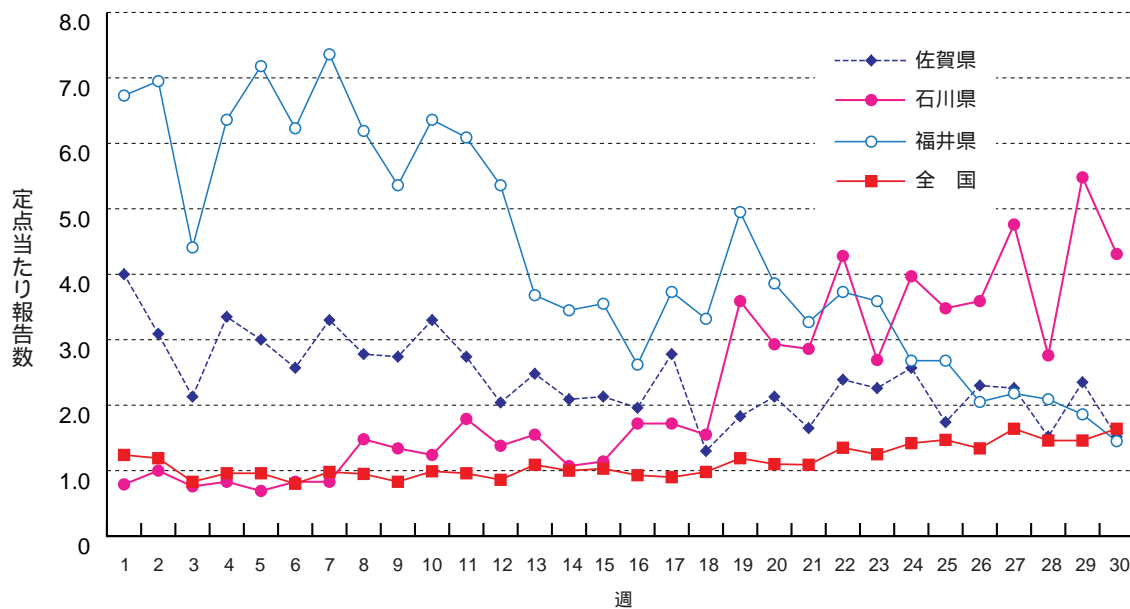


図4. 3県および全国における流行性耳下腺炎の週別発生状況(2005年)

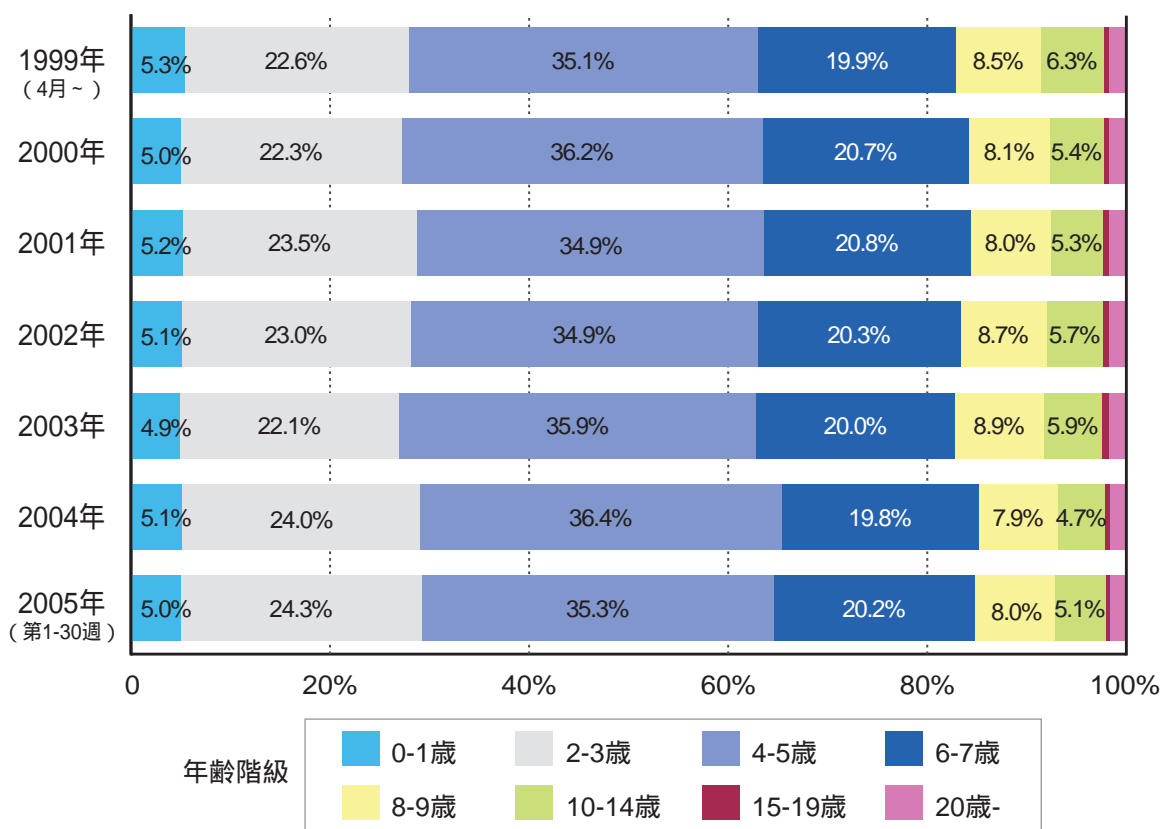


図5. 流行性耳下腺炎報告症例の年別・年齢別割合(1999～2005年第30週)



## 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の2005年の報告数は第20週に50例を超えた後、増加傾向が認められ、第23週には100例を、第28週には150例を超えた(図1)。第29週の報告数は119例で前週より減少したが、第30週は168例と再び増加した。このように本年は、第26週から継続して100例を超えている。累積報告数は1,525例(2002年1,555例、2003年1,107例、2004年1,475例)であり、現在までのところ、例年に比べて特に多いとは言えない。

都道府県別では、第30週に報告の多かったのは島根県(21例)、千葉県(11例)、愛知県(11例)であり(図2)、島根県では保育施設における集団発生が認められている。また、累積報告数では北海道(97例)、大阪府(85例)、大分県(82例)、東京都(81例)が多い。

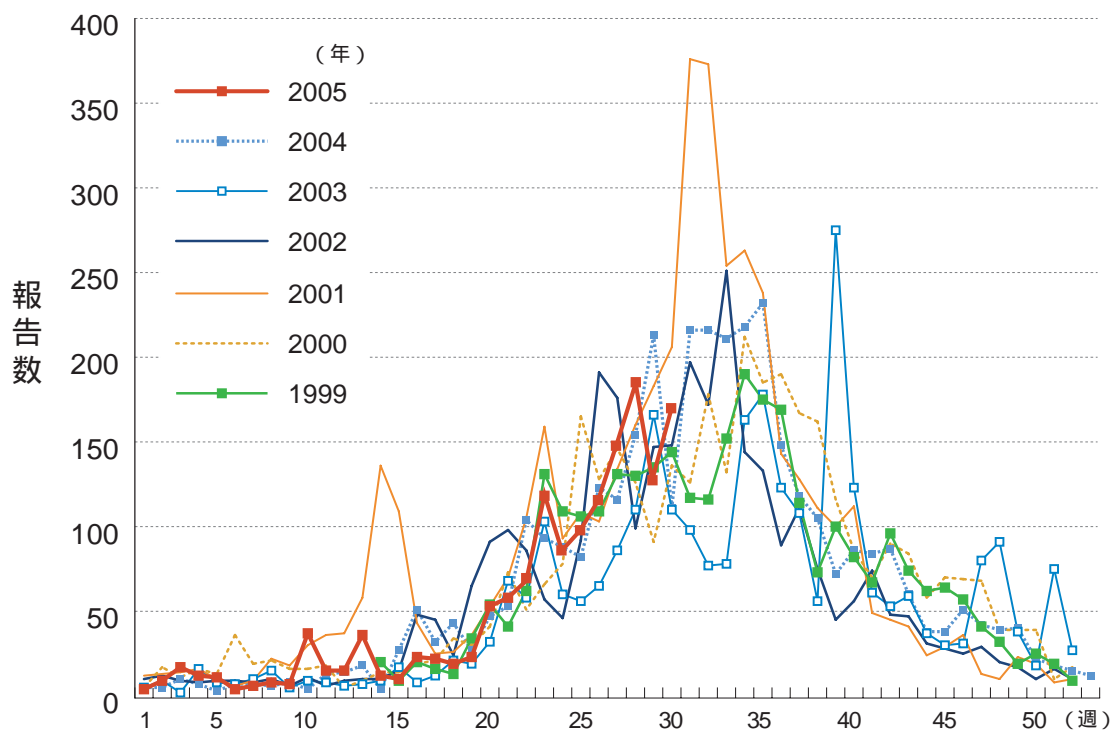


図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

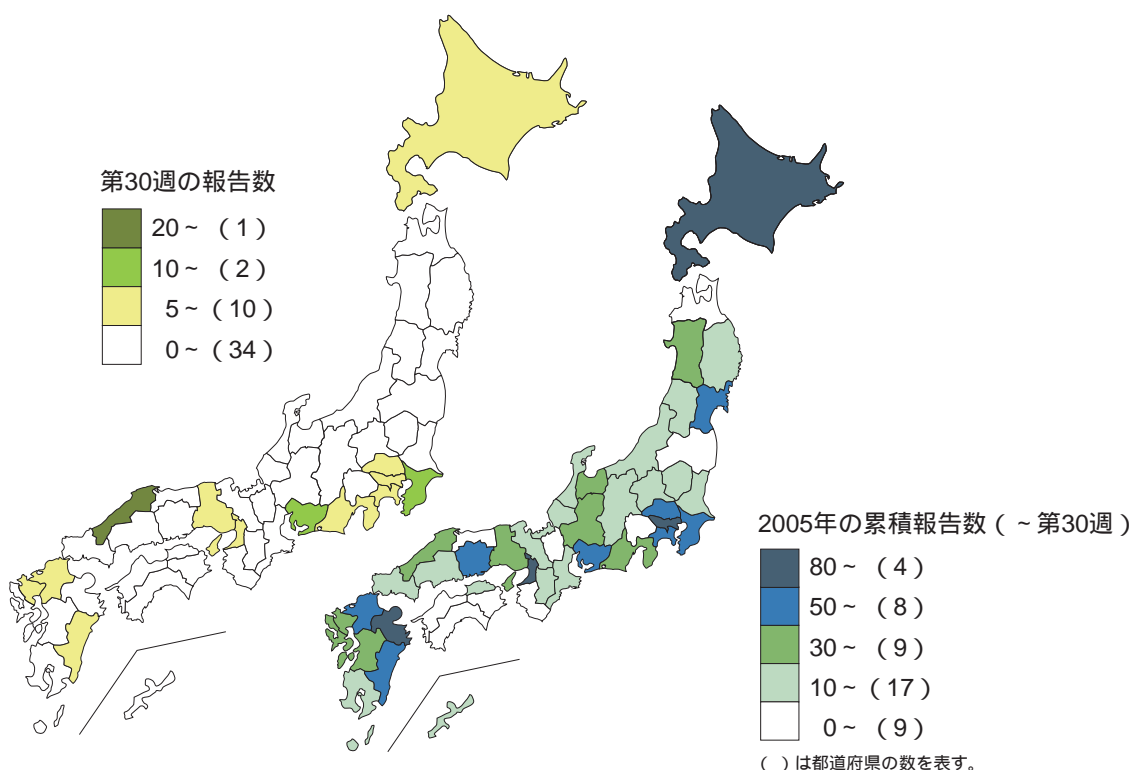


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況

第30週に報告された168例のうち、性別では男性79例、女性89例であり、年齢階級別(10歳毎)では相変わらず0～9歳(69例)が最も多く、41%を占めた。また、有症状者は122例(73%)で、無症状病原体保有者が46例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。また、溶血性尿毒症症候群(HUS)の報告は、第30週は1例で、累積では19例となった。19例の年齢は10歳未満が12例(うち、5歳未満は7例)で、10代3例、50代1例、60代1例、70代1例、80代1例であった。死亡については第30週に報告はなく、累積では2例である。HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、発生があった場合の追加・修正報告をお願いしている。

血清型・毒素型別では、第30週はO157 VT1・VT2(58例)、O157 VT2(32例)、O26 VT1(25例)の順に多く、累積報告数では、O157 VT1・VT2(564例)、O157 VT2(317例)、O26 VT1(281例)の順に多い。

例年集団発生が多く認められる保育施設も含め、本年も各種施設における集団発生や死亡の報告がなされている。本症の発生が増加する盛夏においては、特に十分な警戒が必要である。そのため、食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。また保育所においては、特にオムツ交換時の手洗い、園児に対する食前・食後の手洗い指導の徹底、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

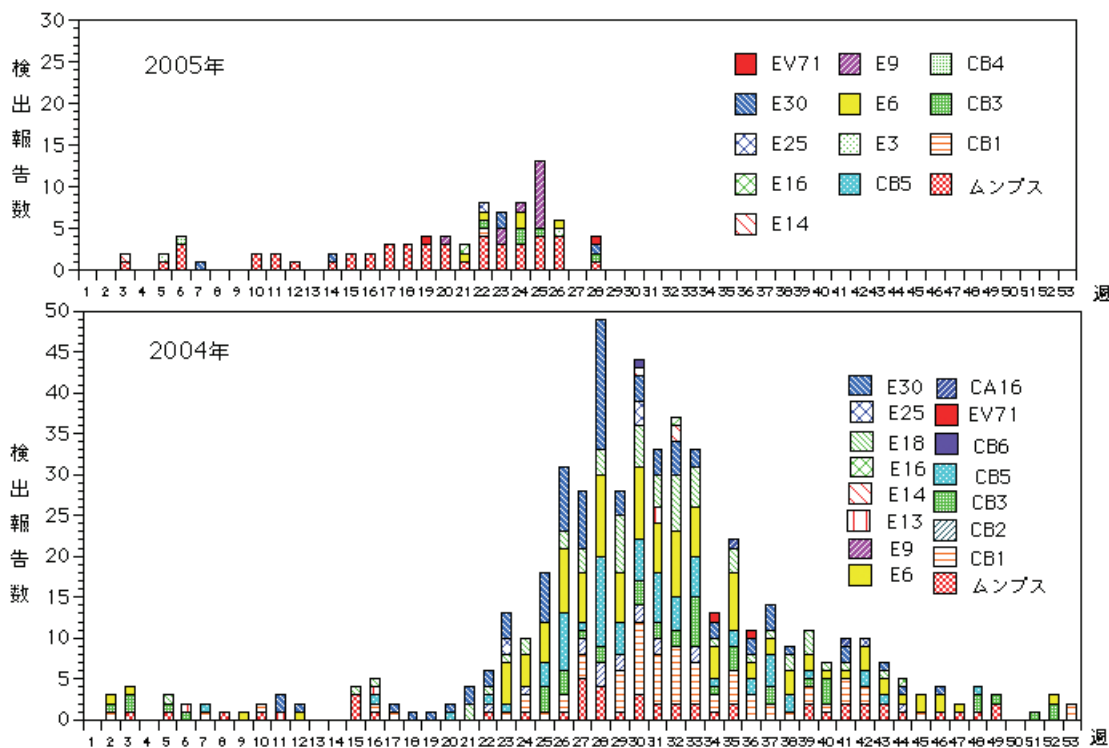
各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2005年8月5日現在報告分)

### 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2005年

2005年の検出総数は91件で、このうちムンプスウイルスが47件と半数を占めている。エンテロウイルスではエコーウイルス(E)9型が12件、E6、E30、B群コクサッキーウイルス3型(CB3)が各5件、E3が2件、CB1、CB4、E14、E16、E25、エンテロウイルス71型が各1件報告されている。2004年に検出されたウイルスは、報告数が多い順にE6、E30、CB5、CB1、E18、CB3などであった。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス検出報告数、2004年&2005年(病原微生物検出情報: 2005年8月5日現在報告数)



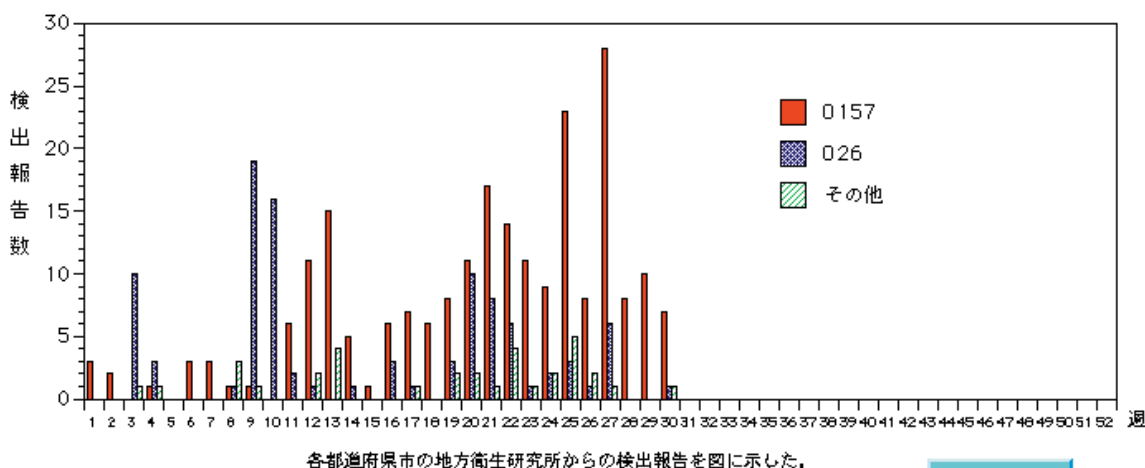
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



### ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年

2005年の検出総数は357件で、O157が225件、O26が98件、その他の血清型が34件報告されている。沖縄県からは、第27週をピークとするO157とO26の集団発生事例(ともに保育所での事例)が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2005年 (病原微生物検出情報: 2005年8月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



### インフルエンザウイルス 2005年第26週(6/27～)以降

24週以降、沖縄県でAH3型の分離が続いており、第26～30週の各週の報告数は1、3、1、3、1件である(本号13ページ速報記事参照)。また、第27週に大阪府、第28週に山形県からも各1件の分離が報告されている。

一方、第28週に宮城県からAH1型の分離が2件報告されている。B型は第20週に山形県で1件分離された後は報告されていない。



## 夏季におけるインフルエンザウイルスAH3型の流行 - 沖縄県

2004/05シーズンの沖縄県のインフルエンザの流行は3月中旬にピークとなり、一時は終息に向かったが、6月中旬頃から再び患者数が急増し、2005年7月13日にはインフルエンザ注意報レベルに達した。国内では過去に夏場の注意報レベルは例がなく、例年とは異なる状況であったので概要を報告する。

患者報告数：2004/05シーズンの沖縄県のインフルエンザウイルスの流行は、2005年の第11週(3月14～20日)に患者数4,039人、定点当たり69.64人でピークとなった後減少し、第16週(4月18～24日)には定点当たり9.6人と、一時は終息に向かうと思われた。しかし、第25週(6月20～26日)から再び増加し始め、第27週(7月4～10日)には患者数652人、定点当たり11.24人と注意報レベル(定点当たり10人)を上回り、第28週(7月11～17日)に患者数827人、定点当たり14.26人と、2回目のピークとなった。第30週(7月25～31日)には患者数489人、定点当たり8.43人で注意報レベルを下回り、終息に向かっている。患者報告数を年齢別でみると、0～9歳と30～39歳で多いのが特徴であった。この夏季の流行で、県内の小中高7校11クラスが学級閉鎖となった。

ウイルス分離状況：今シーズンは、2005年1月22日に定点医療機関で採取された咽頭ぬぐい液からAH3型が初めて分離され、7月末までにAH3型26株、B型11株、計37株が分離された。1月はAH3型のみが分離されたが、2～3月はAH3型およびB型が分離され、4～7月は再びAH3型のみが分離であった。国立感染症研究所より分与された2004/05インフルエンザウイルス同定キットを用いたHI試験(0.75%モルモット赤血球を使用)では、AH3型分離株は、抗A/Wyoming/03/2003(ホモ価1,280)に対してHI価160～640、B型分離株は抗B/Johannesburg/5/99(ホモ価1,280)に対してHI価640～1,280を示した。AH3型分離株のうち、HI価160と低い交差反応性を示した3株は6月下旬～7月上旬の分離株で、抗原変異が考えられたことから、詳細な解析のため国立感染症研究所に送付した。

これまで、国内では夏季にAH3型が流行した例はないが、東南アジアにおけるインフルエンザ流行は、例年6～8月の雨期に流行のピークがあるといわれ、2000～2002年のタイの報告では1～2月と6～7月にピークがあり(IASR 25:292-293, 2004)、今回の流行パターンと類似している。

今後、地球温暖化に伴う気象変動により、本県のインフルエンザ流行形態も東南アジア型に移行することも考えられるので、夏場の流行に注目し、監視を強化する必要がある。

沖縄県衛生環境研究所

平良勝也 仁平 稔 糸数清正 久高 潤 大野 惇

沖縄県感染症情報センター

下地實夫 賀数保明

沖縄県健康増進課

田盛広三 新垣美智子

(IASR 2005年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

## 中国青海省より帰国した邦人からインフルエンザウイルスAH3型が検出された事例

症例は53歳男性。2005年7月14日から中国上海ならびに青海省を旅行し、19日に帰国した。帰国時より咽頭痛を自覚し、21日より38.4 の発熱、全身倦怠感、頭重感が出現したため、22日に国立国際医療センター耳鼻咽喉科を独歩にて受診。咽頭炎とされたが、本人が鳥インフルエンザを心配し、当センター渡航者健康管理室を受診した。発熱と眼球結膜充血、咽頭発赤、ならびに胸部聴診上、右下肺野にわずかにcoarse cracklesを聴取する以外、特記すべき所見はなし。胸部レントゲンで明らかな肺炎像は認めず。臨床症状よりインフルエンザを疑い、迅速診断キットによる検査を実施したところ、A型インフルエンザと判明した。本症例は当初、鳥との接触歴は不明であったが、鳥の間でインフルエンザA/H5N1型の流行が報告されている中国青海省から帰国直後であったので、高病原性鳥インフルエンザ疑い症例として、新宿保健所の指示のもと、東京都福祉保健局による高病原性鳥インフルエンザアラートシステムに従い、22日夕刻に東京都健康安全研究センターへ患者検体(血液ならびに咽頭ぬぐい液)を搬入した。患者に対しては入院の必要はないと判断し、周囲への感染予防に関して詳細な説明を行い、オセルタミビルを処方して帰宅とした。

検体については、バイオハザードレベル3実験室で、QIAamp Viral RNA Mini Kit(QIAGEN)を用いて核酸RNAを抽出処理後、高病原性鳥インフルエンザウイルス(AH5、AH7、AH9型)およびヒトインフルエンザウイルス(AH1、AH3型)の遺伝子学的検査、およびウイルス分離試験を開始した。遺伝子学的検査法としてはLAMP法(AH5、AH7: 栄研化学)リアルタイムPCR法(AH1、AH3、AH5、AH7、AH9型)およびRT-nested-PCR法(AH1、AH3型)を実施した。

22日深夜、リアルタイムPCR法によりAH3型遺伝子が検出され、AH1、AH5、AH7、AH9型はLAMP法およびリアルタイムPCR法により否定された。翌日、RT-nested-PCR法においてもAH3型遺伝子が検出されたため、塩基配列を決定して解析を行った。その結果、本インフルエンザウイルス株は、AH3型の中でもA/California/7/2004株(WHOの2005/06シーズン用ワクチン推奨株)の近縁株であり、東京都内で2004/05シーズン後半に主に分離された株と近縁の群に属することが判明した。なお、患者は投薬後2日で解熱し、症状の悪化なく軽快した。

中国における高病原性鳥インフルエンザは、2004年1～7月の期間に16省50カ所での発生が確認されており、2005年5月には青海省の青海湖内にある鳥島で、死んだ渡り鳥から鳥インフルエンザ(H5N1型)ウイルスが確認されている。本症例は、通常わが国でインフルエンザの流行が見られない7月に、青海省帰国直後に発病したA型インフルエンザであり、当初臨床的にH5N1の可能性を否定できなかった。渡航者においては、わが国で流行していない時期でも臨床的に疑われる場合は、積極的に迅速診断を行うべきである。また、平時からインフルエンザも想定した感染対策を実施しておく必要がある。さらに、渡航地域を確認し、鳥との接触歴を把握した上で、高病原性鳥インフルエンザを鑑別すべく迅速な対応、正確な診断に努めることがきわめて重要であると考えられる。なお、その後の調査で患者本人は鳥との接触歴はなく、患者と現地で行動を共にした11名にインフルエンザ様の症状を呈した者はいないことが判明した。

国立国際医療センター・国際疾病センター

水野泰孝 金川修造 川名明彦 工藤宏一郎

新宿区保健所

前田秀雄

東京都福祉保健局・健康安全室感染症対策課

稲垣智一

東京都健康安全研究センター・微生物部

新開敬行 長島真美 貞升健志 甲斐明美 諸角 聖

(IASR 2005年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 感染症の話

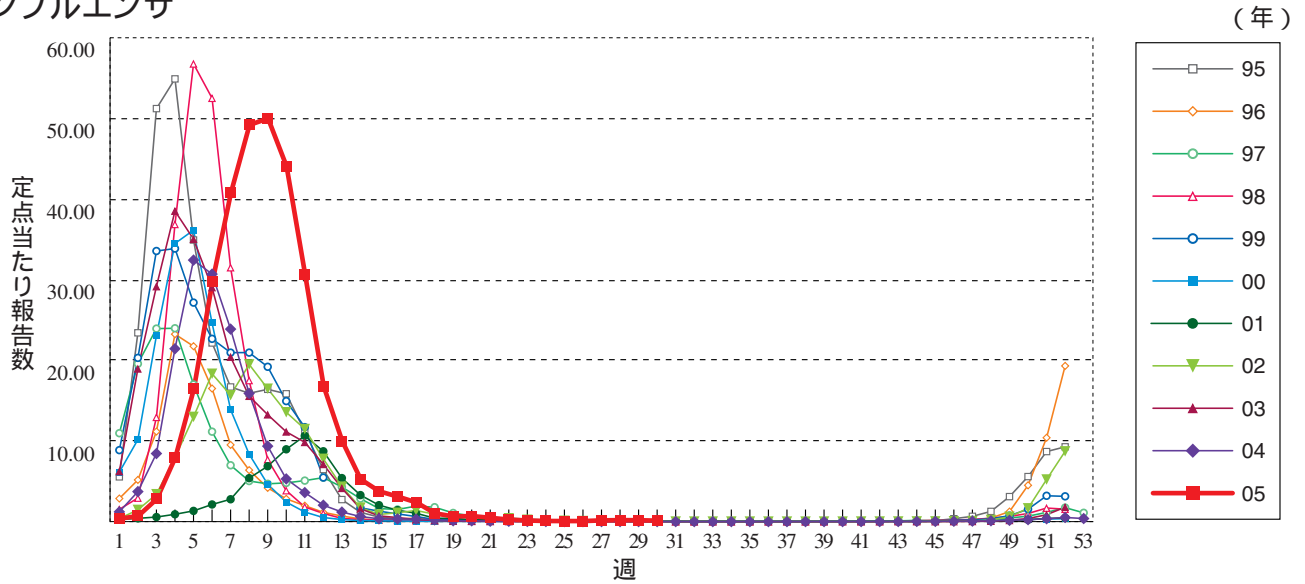
\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

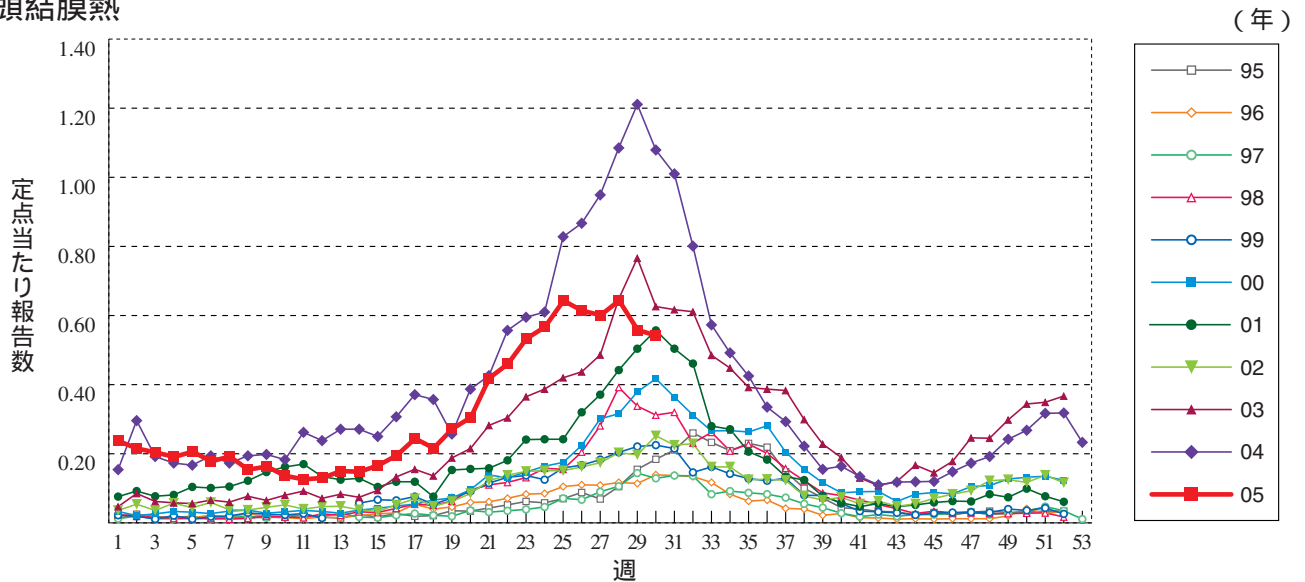
\*\*\*\*\*

**グラフ総覧(30週)**

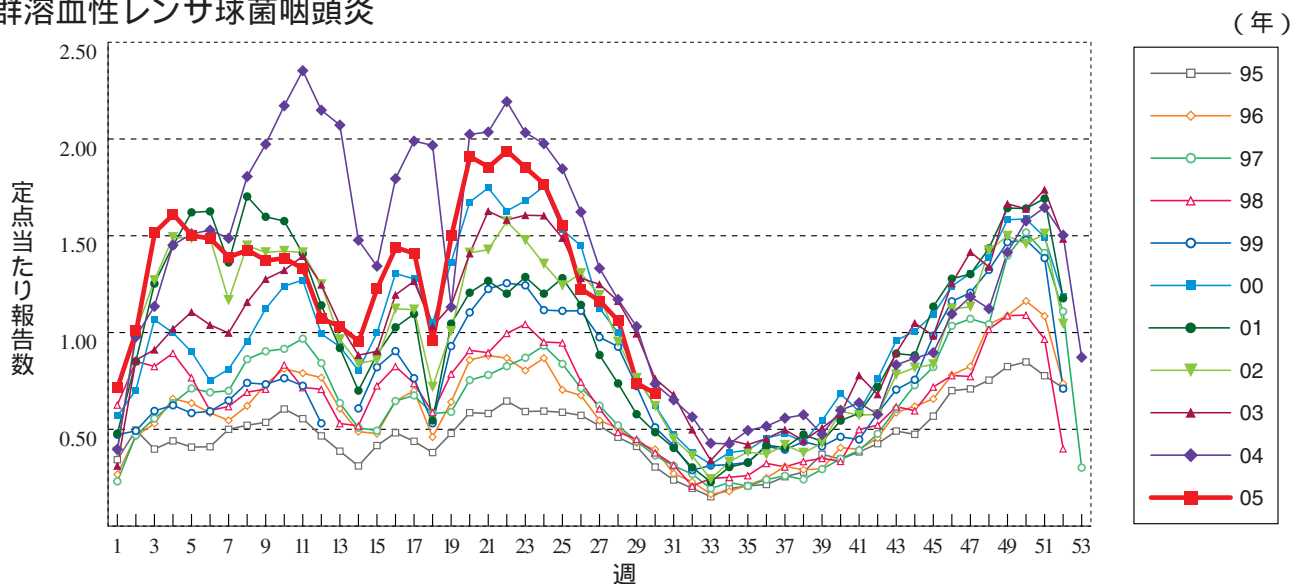
**インフルエンザ**



**咽頭結膜熱**

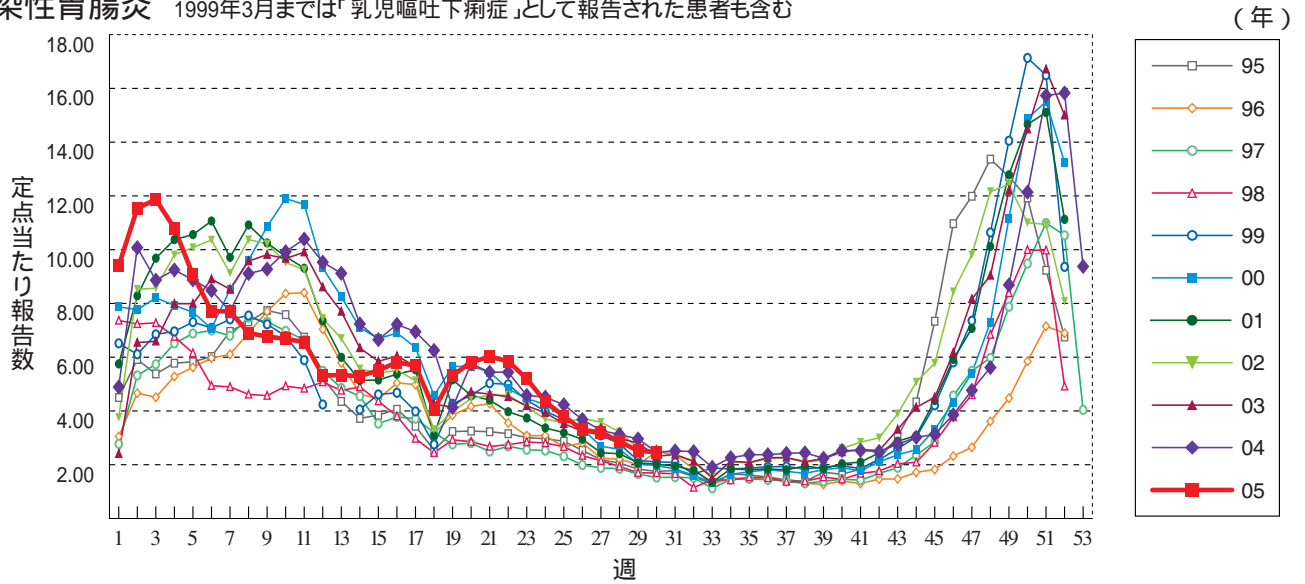


**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

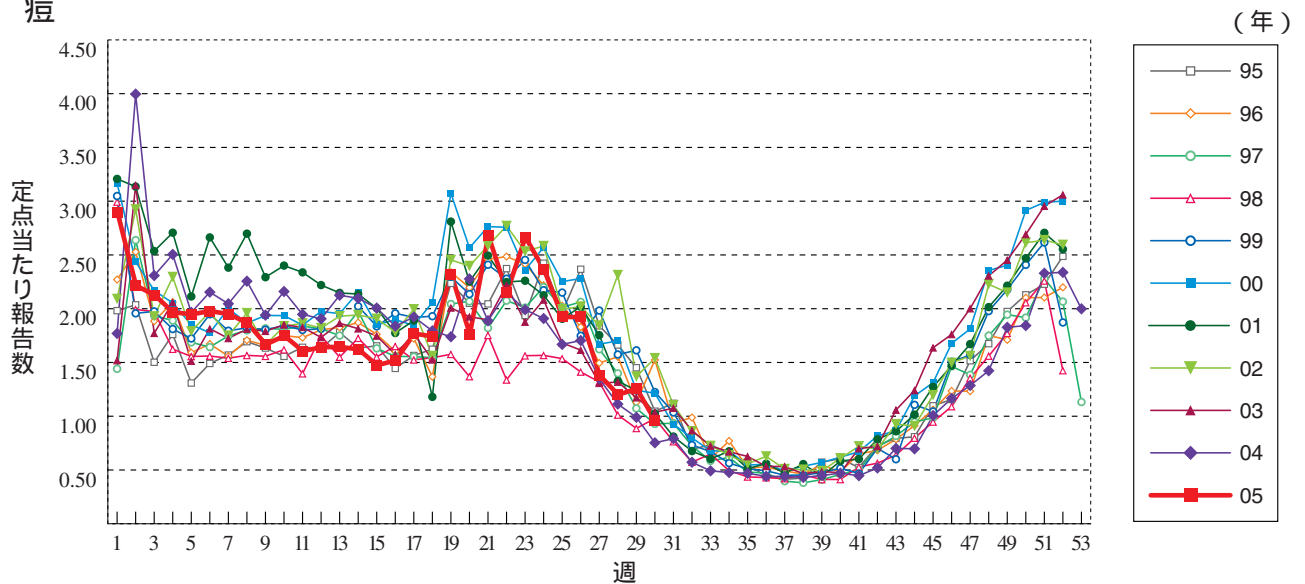




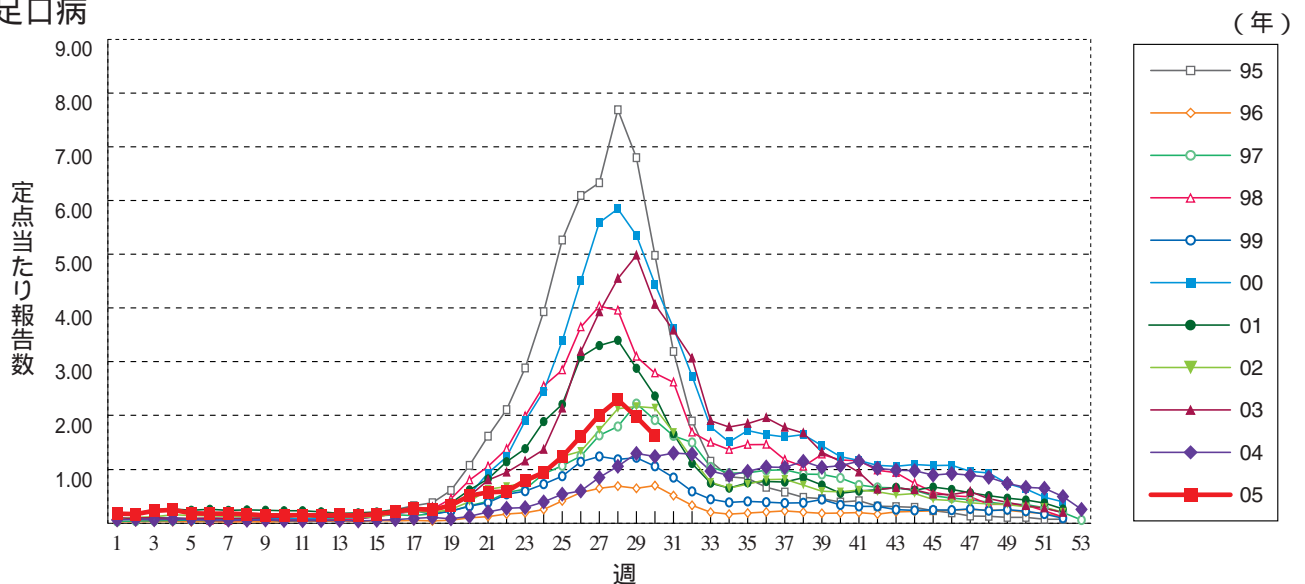
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



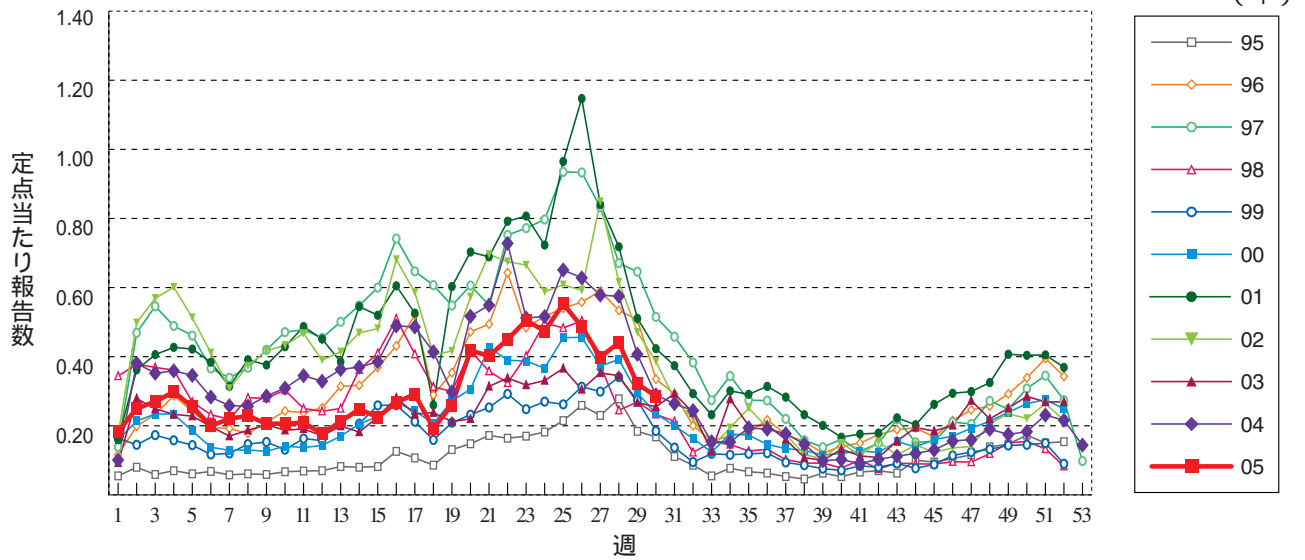
**水痘**



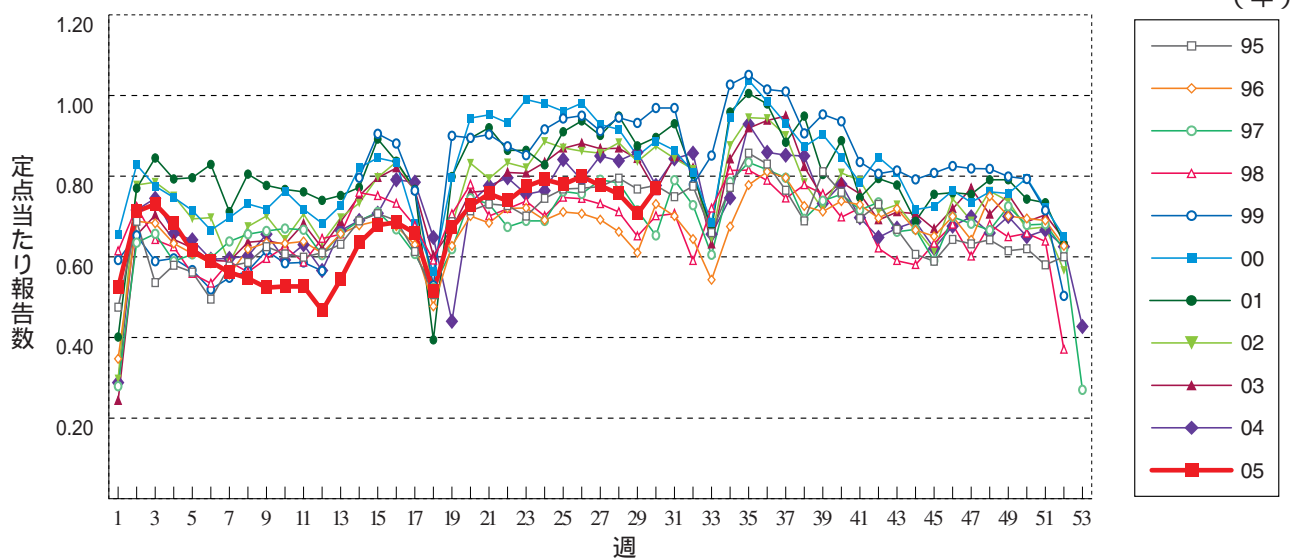
**手足口病**



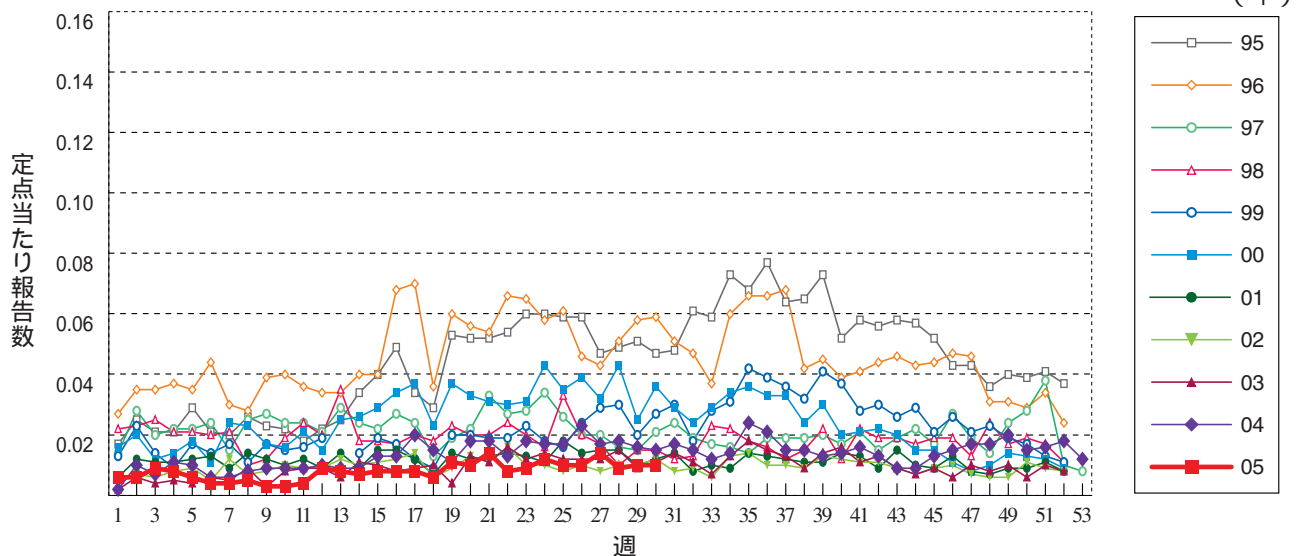
伝染性紅斑



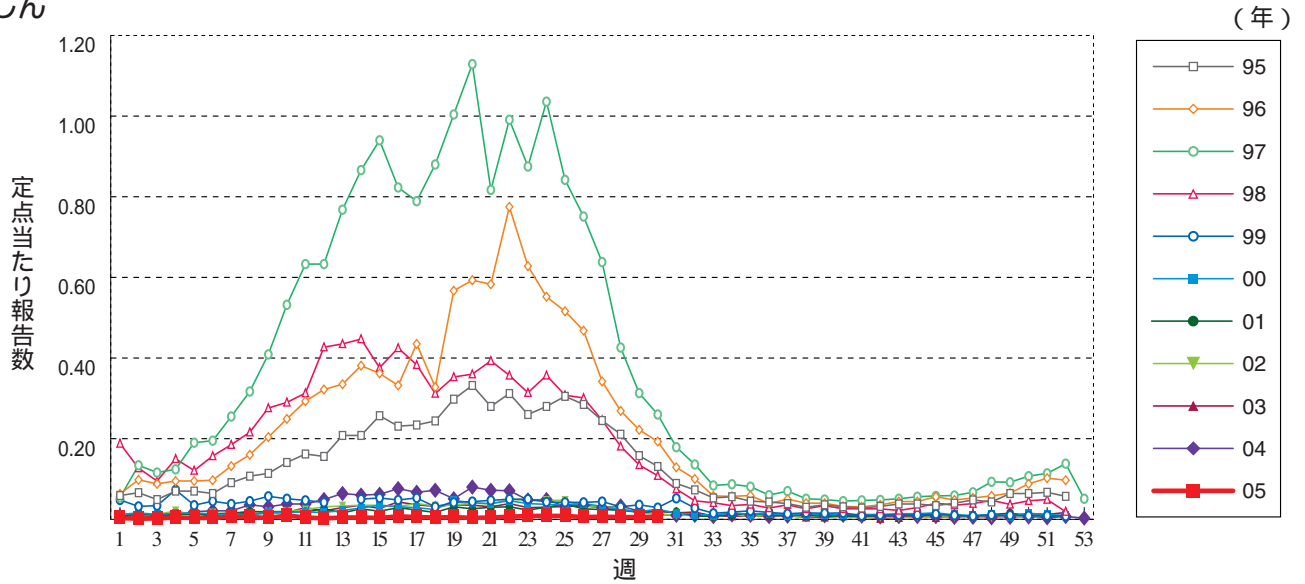
突発性発しん



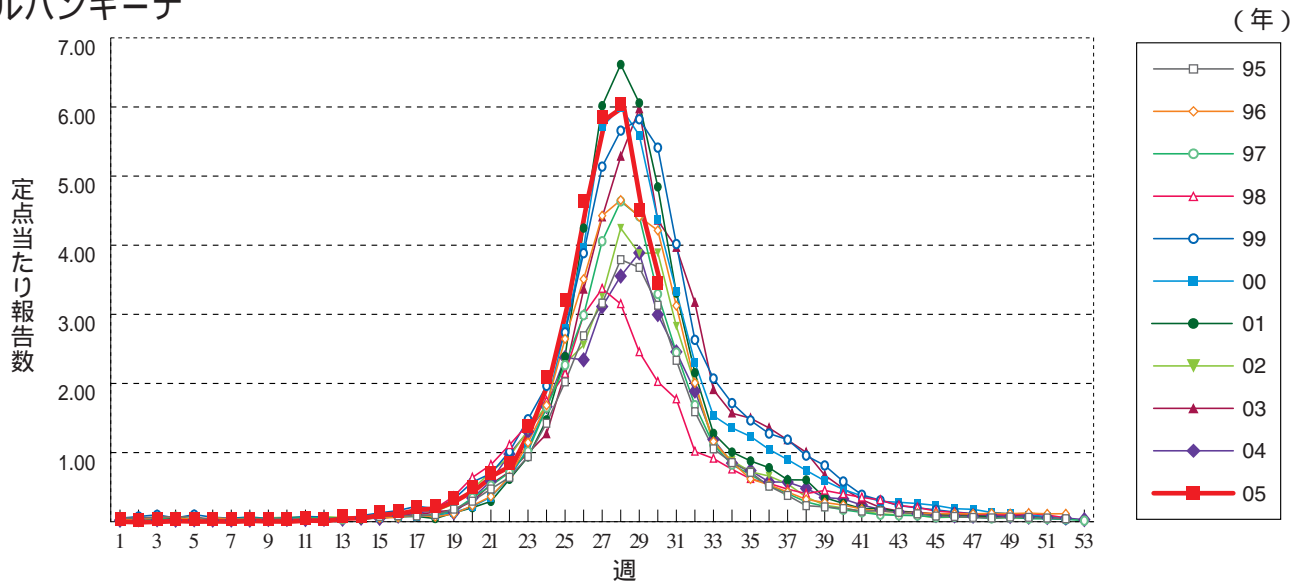
百日咳



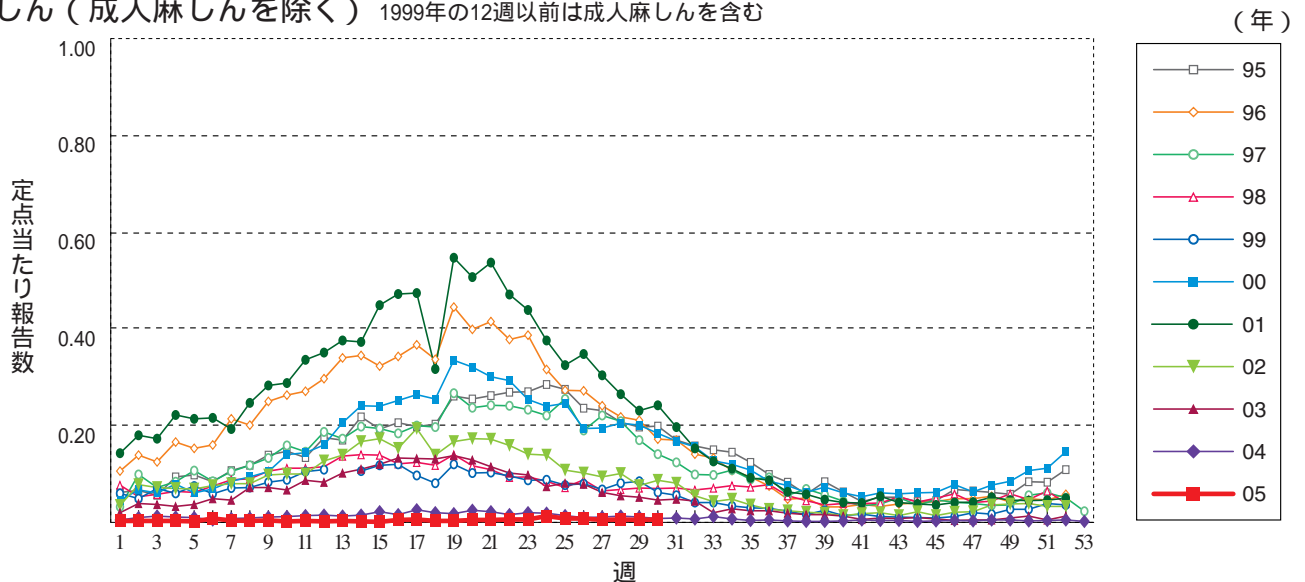
風しん



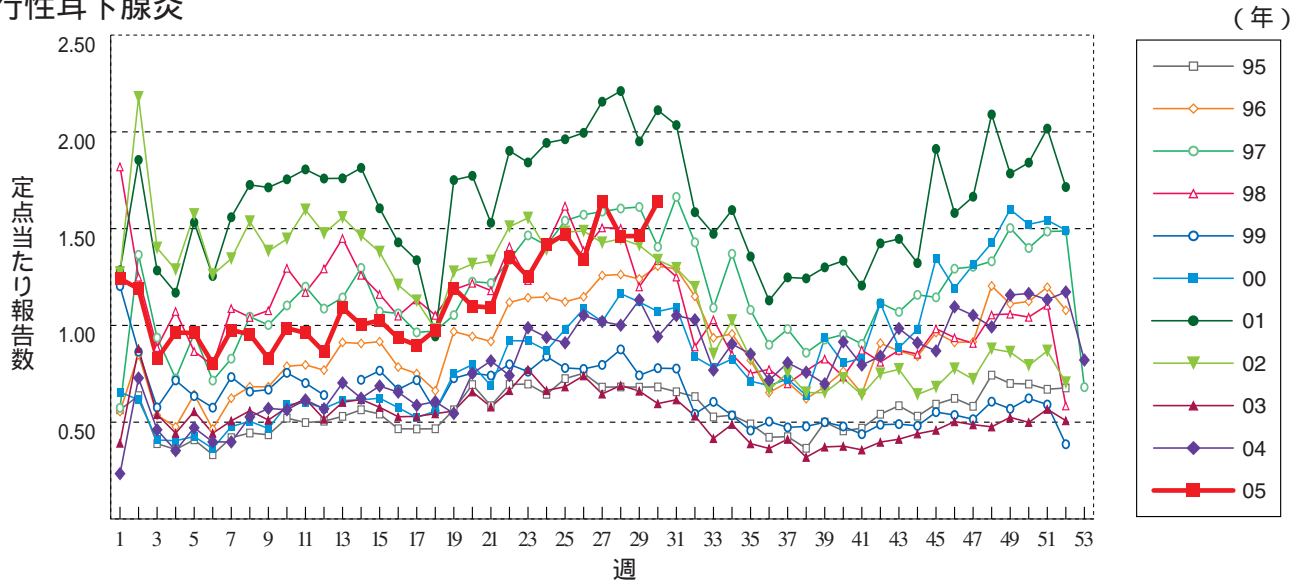
ヘルパンギーナ



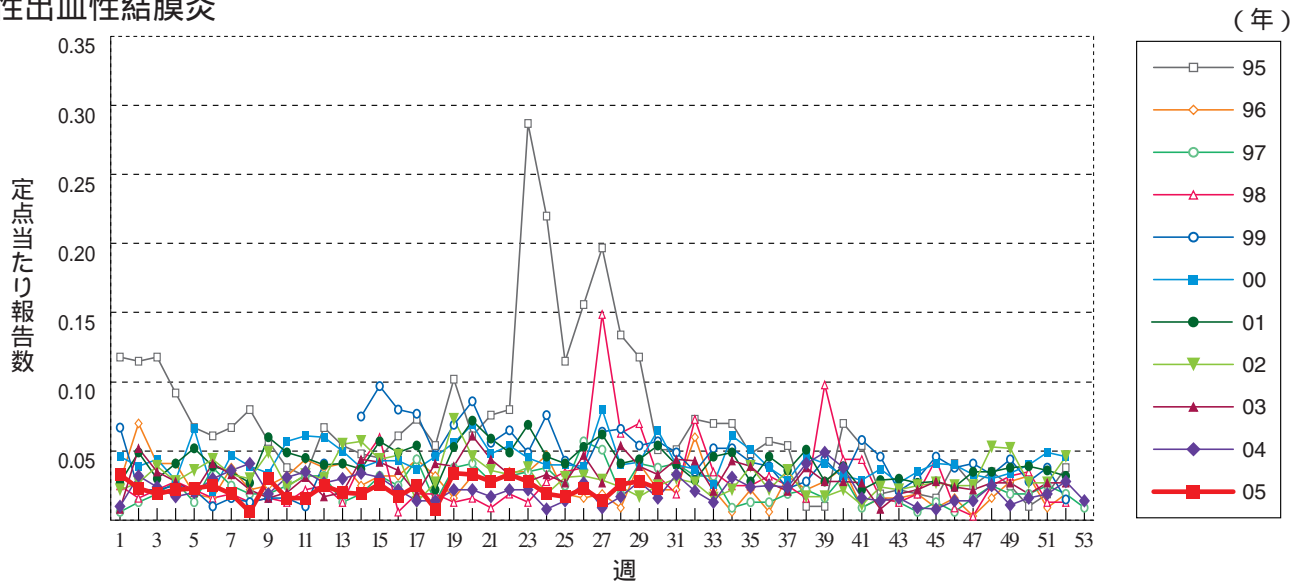
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



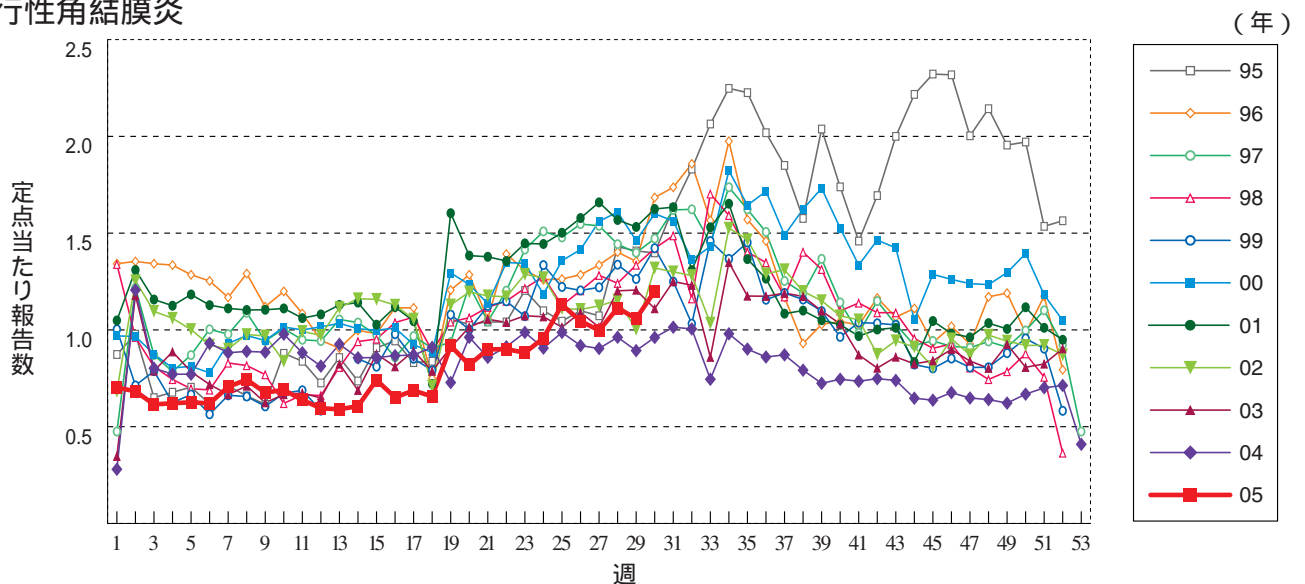
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

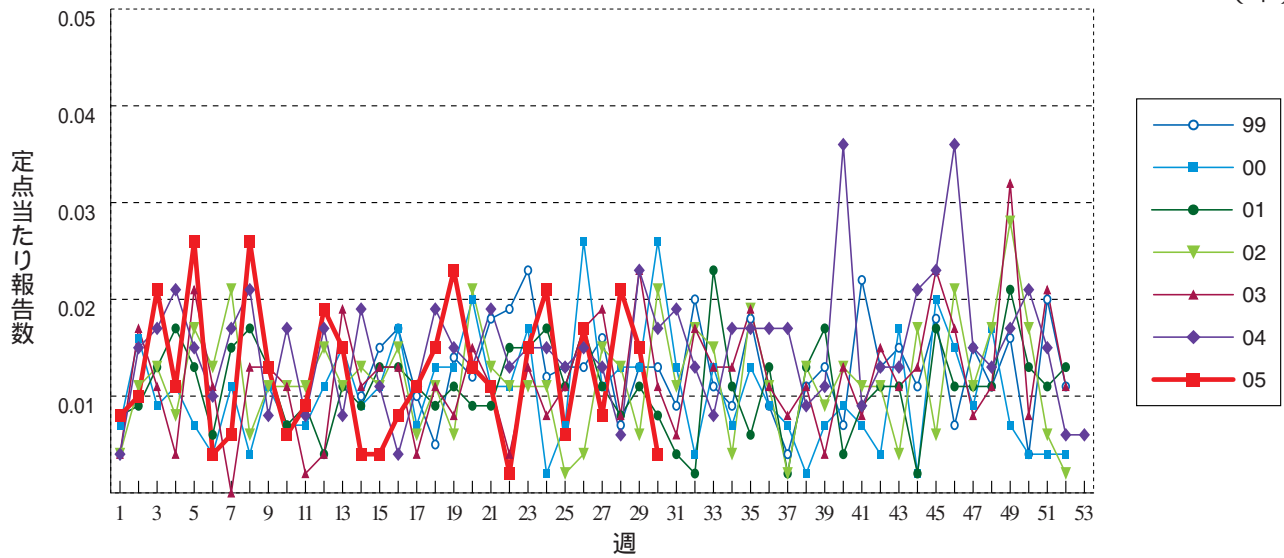


流行性角結膜炎



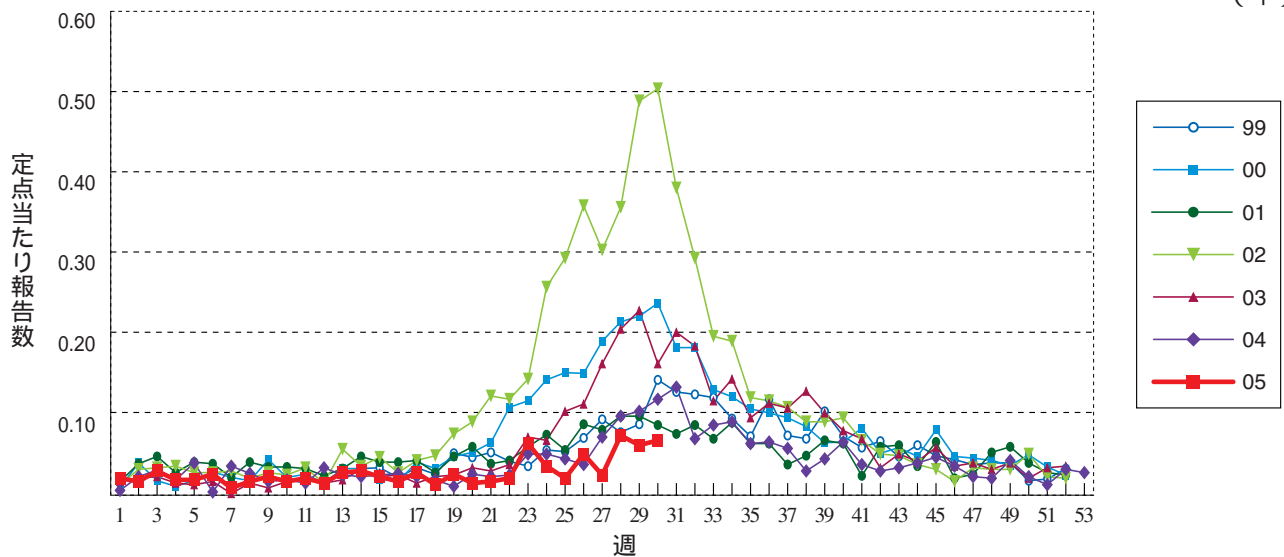
細菌性髄膜炎

(年)



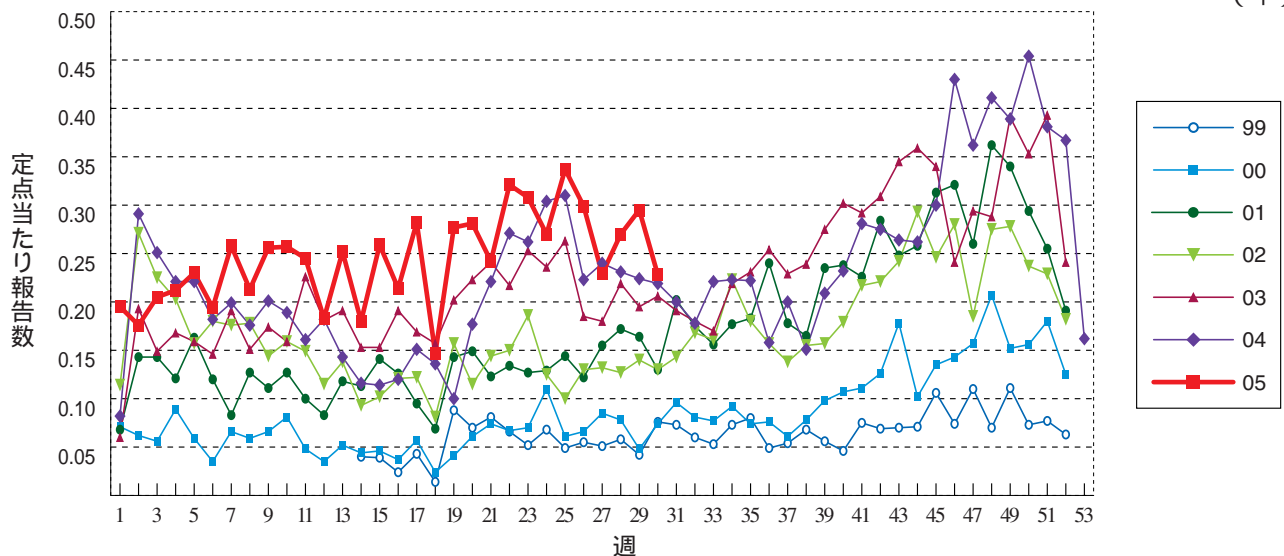
無菌性髄膜炎

(年)

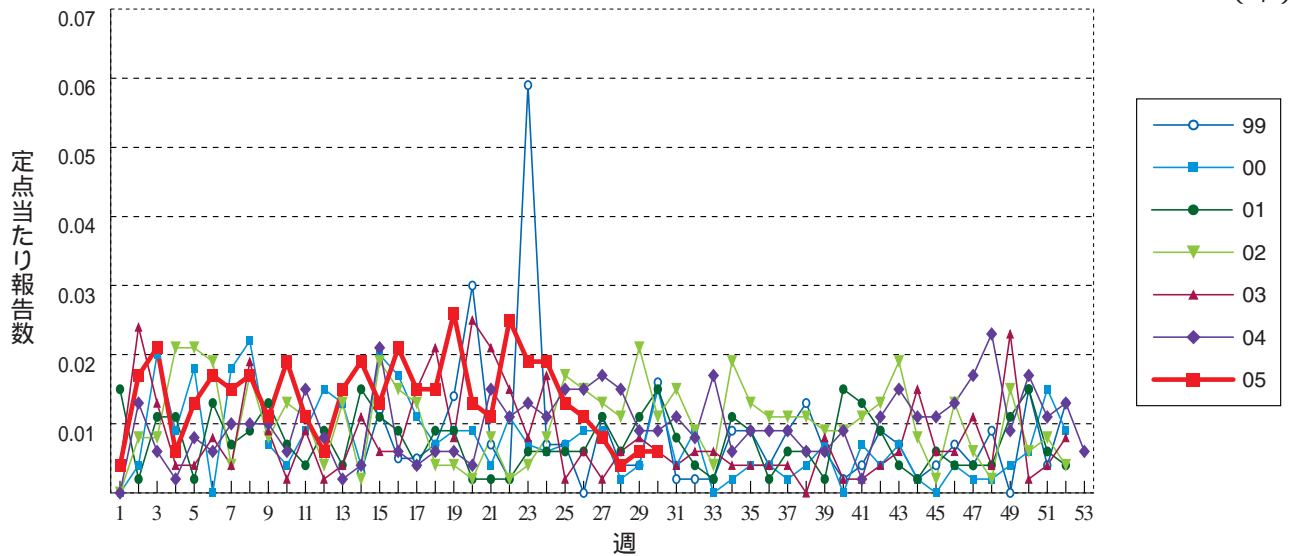


マイコプラズマ肺炎

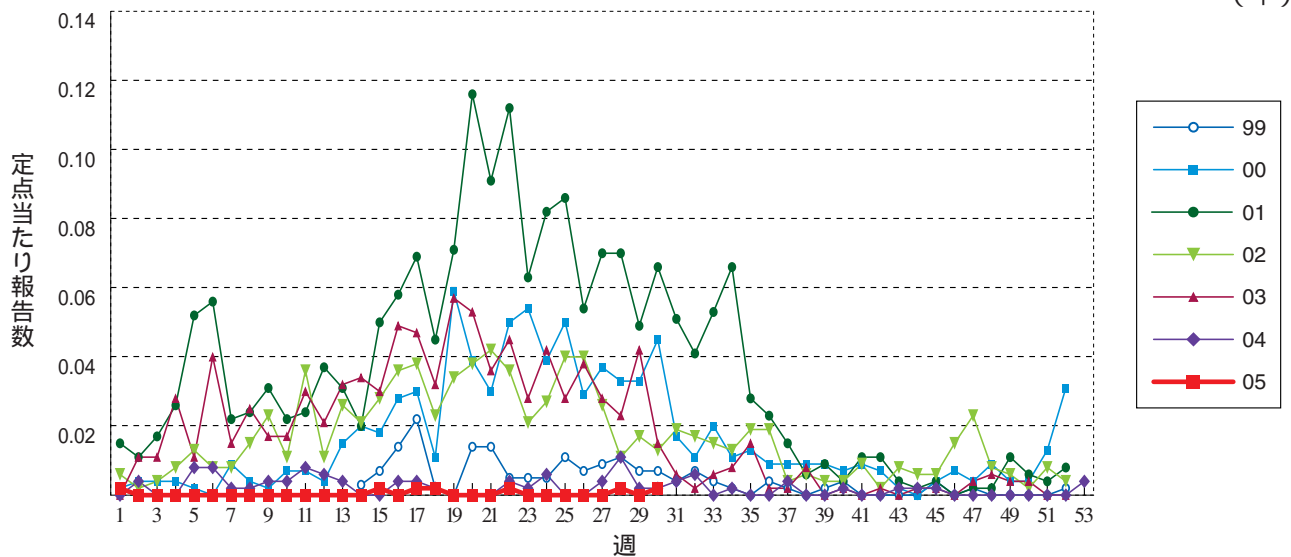
(年)



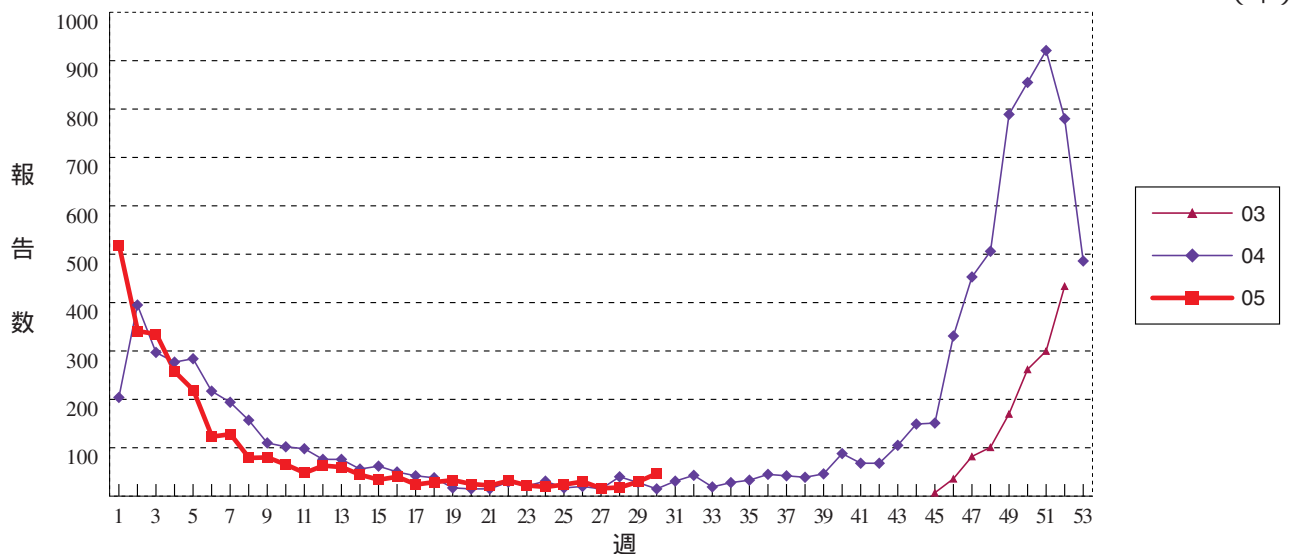
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻しん



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





### 30週のデータ

注)表中の報告数は8月4日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年30週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	30	14	325	-	28	1	8	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	11	-	1	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	22	-	3	1	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	4	52	-	4	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	15	-	1	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	53	-	3	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	54	-	5	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	21	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年30週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	168	1525	5	397	-	11	-	-	-	24	-	-	5	174
北海道	-	-	-	-	9	97	-	7	-	11	-	-	-	1	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	4	19	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2
宮城県	-	-	-	-	2	50	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
秋田県	-	-	-	-	-	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	4	10	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1	7	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	2	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
栃木県	-	-	-	-	3	10	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
群馬県	-	-	-	-	4	29	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	6	60	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	11	61	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	8	81	1	107	-	-	-	-	-	2	-	-	-	26
神奈川県	-	-	-	-	8	52	-	32	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
新潟県	-	-	-	-	1	13	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	2	15	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	3	26	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	36	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	9	36	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	11	74	1	29	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	3	6	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
京都府	-	-	-	-	1	25	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	9	85	-	52	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15
兵庫県	-	-	-	-	8	45	-	17	-	-	-	-	-	5	-	-	-	17
奈良県	-	-	-	-	1	20	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	21	39	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	3	57	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	4	27	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	-	29	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	1	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	5	70	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	8	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	36	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	31	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	2	82	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	9	65	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
鹿児島県	-	-	-	-	3	18	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年30週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	8	-	-	-	5	1	75	1	35	10	663	-	1	1	40	-	-
北海道	-	1	-	-	-	3	-	4	-	-	-	12	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	15	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	8	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	18	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	28	-	-	-	1	-	-
東京都	-	3	-	-	-	1	-	11	-	2	2	231	-	-	-	8	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	1	-	6	-	2	-	35	-	-	-	7	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	2	11	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	21	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	40	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	1	81	-	-	-	5	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	17	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	9	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	11	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	15	-	-	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年30週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	-	-	-	-	1	97	-	17	2	21	-	-	6	299	3	54
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
岩手県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	
宮城県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	1	3	
秋田県	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	
山形県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	
群馬県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	5	-	3	
東京都	-	3	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	2	45	-	1	
神奈川県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	1	1	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
長野県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	12	-	-	
愛知県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	27	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	44	-	1	
兵庫県	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11	-	2	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2	6	-	-	-	-	-	2	
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	4	-	1	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	4	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	1	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	17	-	3	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	3	-	2	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-	1	8	-	5	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年30週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	42	-	-	-	-	-	-	-	-	2	40	-	1	9	115
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
東京都	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	1	1	11	
神奈川県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
岐阜県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	6	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	7
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	7	
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年30週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	31	-	-	-	125	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	5	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年30週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	4	1	127	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	15	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年30週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	560	0.12	1651	0.54	2084	0.68	7506	2.47	2912	0.96	4955	1.63	871	0.29	2349	0.77	29	0.01
北海道	1	0.00	83	0.57	155	1.07	191	1.32	192	1.32	135	0.93	28	0.19	77	0.53	-	-
青森県	-	-	28	0.67	26	0.62	49	1.17	71	1.69	98	2.33	42	1.00	15	0.36	-	-
岩手県	-	-	8	0.22	6	0.16	77	2.08	27	0.73	72	1.95	13	0.35	21	0.57	-	-
宮城県	2	0.02	49	0.80	48	0.79	172	2.82	72	1.18	157	2.57	33	0.54	54	0.89	-	-
秋田県	-	-	5	0.14	19	0.54	82	2.34	35	1.00	18	0.51	17	0.49	17	0.49	-	-
山形県	1	0.02	16	0.53	57	1.90	58	1.93	22	0.73	4	0.13	11	0.37	28	0.93	-	-
福島県	-	-	29	0.60	27	0.56	141	2.94	49	1.02	152	3.17	44	0.92	39	0.81	2	0.04
茨城県	1	0.01	30	0.41	80	1.08	118	1.59	91	1.23	85	1.15	19	0.26	38	0.51	-	-
栃木県	-	-	12	0.26	21	0.46	87	1.89	35	0.76	84	1.83	14	0.30	21	0.46	1	0.02
群馬県	-	-	13	0.21	50	0.81	170	2.74	77	1.24	148	2.39	2	0.03	58	0.94	1	0.02
埼玉県	-	-	79	0.48	118	0.72	502	3.08	186	1.14	293	1.80	54	0.33	144	0.88	3	0.02
千葉県	1	0.00	68	0.51	145	1.08	207	1.54	145	1.08	137	1.02	46	0.34	93	0.69	2	0.01
東京都	1	0.01	108	0.76	110	0.77	320	2.25	106	0.75	184	1.30	38	0.27	76	0.54	-	-
神奈川県	1	0.00	99	0.48	137	0.67	471	2.29	197	0.96	424	2.06	134	0.65	179	0.87	-	-
新潟県	-	-	28	0.45	55	0.89	99	1.60	79	1.27	268	4.32	8	0.13	48	0.77	1	0.02
富山県	-	-	13	0.45	16	0.55	88	3.03	37	1.28	21	0.72	3	0.10	21	0.72	-	-
石川県	-	-	23	0.79	23	0.79	98	3.38	24	0.83	8	0.28	3	0.10	12	0.41	-	-
福井県	3	0.09	19	0.86	11	0.50	121	5.50	30	1.36	10	0.45	2	0.09	18	0.82	-	-
山梨県	1	0.02	6	0.24	16	0.64	38	1.52	21	0.84	9	0.36	17	0.68	9	0.36	-	-
長野県	-	-	48	0.87	61	1.11	116	2.11	58	1.05	75	1.36	9	0.16	32	0.58	1	0.02
岐阜県	-	-	36	0.68	23	0.43	56	1.06	70	1.32	10	0.19	3	0.06	27	0.51	-	-
静岡県	-	-	85	0.99	48	0.56	188	2.19	76	0.88	127	1.48	21	0.24	73	0.85	-	-
愛知県	-	-	116	0.64	115	0.63	385	2.12	177	0.97	96	0.53	27	0.15	134	0.74	1	0.01
三重県	1	0.01	20	0.44	20	0.44	165	3.67	60	1.33	28	0.62	11	0.24	60	1.33	-	-
滋賀県	-	-	33	1.00	1	0.03	61	1.85	18	0.55	27	0.82	7	0.21	23	0.70	-	-
京都府	-	-	21	0.28	25	0.33	170	2.27	36	0.48	46	0.61	11	0.15	28	0.37	-	-
大阪府	4	0.01	94	0.47	115	0.58	483	2.44	182	0.92	254	1.28	25	0.13	159	0.80	2	0.01
兵庫県	1	0.01	66	0.52	73	0.57	390	3.05	107	0.84	164	1.28	20	0.16	116	0.91	-	-
奈良県	-	-	9	0.26	19	0.56	68	2.00	28	0.82	96	2.82	10	0.29	22	0.65	-	-
和歌山県	-	-	14	0.45	13	0.42	62	2.00	25	0.81	20	0.65	6	0.19	24	0.77	-	-
鳥取県	-	-	7	0.37	18	0.95	62	3.26	24	1.26	70	3.68	3	0.16	26	1.37	-	-
島根県	-	-	8	0.35	10	0.43	88	3.83	31	1.35	53	2.30	1	0.04	19	0.83	1	0.04
岡山県	-	-	11	0.20	21	0.39	121	2.24	28	0.52	196	3.63	5	0.09	27	0.50	1	0.02
広島県	-	-	35	0.47	33	0.44	211	2.81	54	0.72	623	8.31	14	0.19	53	0.71	8	0.11
山口県	-	-	21	0.51	62	1.51	194	4.73	20	0.49	475	11.59	6	0.15	51	1.24	1	0.02
徳島県	-	-	2	0.09	1	0.04	17	0.74	12	0.52	11	0.48	-	-	4	0.17	-	-
香川県	-	-	12	0.38	8	0.25	59	1.84	23	0.72	27	0.84	4	0.13	31	0.97	-	-
愛媛県	-	-	26	0.70	16	0.43	146	3.95	32	0.86	58	1.57	1	0.03	48	1.30	-	-
高知県	-	-	22	0.71	20	0.65	50	1.61	22	0.71	7	0.23	2	0.06	26	0.84	-	-
福岡県	-	-	139	1.16	97	0.81	462	3.85	125	1.04	61	0.51	89	0.74	129	1.08	1	0.01
佐賀県	-	-	11	0.48	12	0.52	56	2.43	38	1.65	19	0.83	6	0.26	41	1.78	-	-
長崎県	-	-	20	0.45	8	0.18	74	1.68	33	0.75	12	0.27	4	0.09	31	0.70	-	-
熊本県	-	-	36	0.75	34	0.71	135	2.81	25	0.52	17	0.35	7	0.15	50	1.04	-	-
大分県	-	-	19	0.53	26	0.72	200	5.56	31	0.86	21	0.58	4	0.11	39	1.08	-	-
宮崎県	1	0.02	16	0.43	51	1.38	249	6.73	15	0.41	15	0.41	4	0.11	45	1.22	-	-
鹿児島県	52	0.56	6	0.11	28	0.50	132	2.36	49	0.88	24	0.43	43	0.77	43	0.77	1	0.02
沖縄県	489	8.43	2	0.06	6	0.18	17	0.50	17	0.50	16	0.47	-	-	20	0.59	2	0.06

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年30週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	23	0.01	10531	3.46	35	0.01	4992	1.64	15	0.02	775	1.20	2	0.00	32	0.07	107	0.23
北海道	-	-	365	2.52	-	-	217	1.50	-	-	22	0.76	-	-	-	-	3	0.13
青森県	2	0.05	201	4.79	-	-	33	0.79	-	-	6	0.55	-	-	1	0.17	5	0.83
岩手県	-	-	164	4.43	-	-	20	0.54	-	-	19	1.58	-	-	-	-	2	0.10
宮城県	-	-	334	5.48	-	-	108	1.77	2	0.17	2	0.17	-	-	-	-	16	1.33
秋田県	1	0.03	165	4.71	-	-	21	0.60	-	-	1	0.14	-	-	1	0.13	2	0.25
山形県	-	-	64	2.13	-	-	72	2.40	-	-	1	0.13	-	-	-	-	4	0.40
福島県	-	-	116	2.42	-	-	82	1.71	-	-	26	2.17	-	-	-	-	5	0.71
茨城県	1	0.01	185	2.50	1	0.01	185	2.50	-	-	41	2.56	-	-	-	-	1	0.09
栃木県	1	0.02	111	2.41	-	-	29	0.63	-	-	8	0.67	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	-	-	195	3.15	-	-	58	0.94	-	-	33	2.36	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	2	0.01	630	3.87	3	0.02	296	1.82	4	0.10	55	1.38	-	-	-	-	5	0.56
千葉県	-	-	424	3.16	1	0.01	272	2.03	2	0.06	30	0.86	-	-	-	-	1	0.11
東京都	3	0.02	435	3.06	2	0.01	223	1.57	1	0.07	20	1.43	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	-	-	889	4.32	5	0.02	403	1.96	1	0.02	66	1.57	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	451	7.27	-	-	73	1.18	-	-	7	0.70	-	-	-	-	6	0.46
富山県	-	-	87	3.00	-	-	90	3.10	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	160	5.52	-	-	125	4.31	-	-	6	0.86	-	-	6	1.20	3	0.60
福井県	-	-	137	6.23	1	0.05	32	1.45	-	-	8	2.67	-	-	1	0.17	-	-
山梨県	-	-	93	3.72	1	0.04	6	0.24	-	-	8	2.67	1	0.10	-	-	4	0.40
長野県	-	-	499	9.07	3	0.05	125	2.27	-	-	11	1.00	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	1	0.02	159	3.00	-	-	101	1.91	-	-	18	1.50	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	392	4.56	-	-	148	1.72	-	-	38	1.90	-	-	-	-	3	0.30
愛知県	-	-	633	3.48	-	-	305	1.68	1	0.03	47	1.34	-	-	-	-	3	0.23
三重県	-	-	288	6.40	-	-	59	1.31	-	-	9	0.75	-	-	-	-	4	0.44
滋賀県	-	-	136	4.12	-	-	47	1.42	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
京都府	2	0.03	136	1.81	11	0.15	106	1.41	-	-	13	0.72	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	617	3.12	1	0.01	223	1.13	-	-	24	0.46	-	-	-	-	10	0.71
兵庫県	1	0.01	569	4.45	-	-	92	0.72	-	-	26	0.74	-	-	1	0.07	2	0.14
奈良県	-	-	87	2.56	1	0.03	65	1.91	-	-	4	0.44	-	-	3	0.50	-	-
和歌山県	-	-	61	1.97	-	-	64	2.06	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	43	2.26	-	-	27	1.42	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	47	2.04	-	-	30	1.30	-	-	9	3.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	70	1.30	-	-	27	0.50	-	-	3	0.25	-	-	-	-	4	0.80
広島県	-	-	123	1.64	1	0.01	205	2.73	1	0.05	27	1.35	-	-	5	0.26	4	0.21
山口県	-	-	99	2.41	-	-	58	1.41	-	-	7	0.88	-	-	-	-	7	0.88
徳島県	-	-	40	1.74	-	-	10	0.43	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-
香川県	-	-	45	1.41	-	-	77	2.41	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	68	1.84	1	0.03	74	2.00	-	-	21	2.63	-	-	2	0.33	-	-
高知県	-	-	23	0.74	-	-	14	0.45	-	-	2	0.67	-	-	1	0.14	1	0.14
福岡県	-	-	319	2.66	-	-	263	2.19	-	-	27	1.04	-	-	-	-	-	-
佐賀県	3	0.13	96	4.17	-	-	35	1.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	59	1.34	-	-	67	1.52	1	0.13	11	1.38	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	103	2.15	2	0.04	142	2.96	-	-	15	1.67	1	0.07	8	0.53	2	0.13
大分県	-	-	241	6.69	-	-	63	1.75	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	281	7.59	-	-	65	1.76	-	-	21	5.25	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	78	1.39	1	0.02	64	1.14	1	0.14	3	0.43	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	1	0.03	13	0.38	-	-	91	2.68	-	-	64	6.40	-	-	-	-	2	0.29

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年30週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	1	0.00	47
北海道	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	1	0.05	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	1
福島県	1	0.14	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	...
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	...
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	1	0.08	-
三重県	-	-	-	-	12
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	2
島根県	1	0.13	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	-	-	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	7

**定点把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。



## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。  
\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年30週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第7巻 第30号 平成17年8月12日発行  
発行：国立感染症研究所  
厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部  
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
T E L : 03-5285-1111  
F A X : 03-5285-1129  
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
< 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。